

2014年4月10日

～「ペットオーナーの車に対する意識調査」～

## ペットの安全確保は大丈夫！？

### ペットが車に乗る際に

# 約3割の飼い主が工夫をしていると回答！

T&D保険グループのペット&ファミリー少額短期保険株式会社（東京都文京区、代表取締役社長：仲尾 孝）は、ペットを飼っている20～70代の男女1,183人を対象に、『ペットオーナーの車に対する意識調査』（インターネット調査）を実施しました。

「ペットが車に乗りやすいように普段から工夫などはしていますか？」と質問をしたところ、全体で約3割（28.6%）の方が「工夫をしている」と回答。犬オーナーは3割以上（34.1%）と多くの犬オーナーがペットを車に乗せていることがうかがえます。

具体的にどんな工夫をしているか質問したところ、第1位「ペット用シートカバーを敷く（27.7%）」、第2位「クッションなどで足場を固める（15.0%）」、第3位「キャリーバッグ・専用ケースの設置（12.6%）」となりました。第1位・第2位の意見を中心にペットの車内における居住性や自由に行動できるように配慮した意見が多く見られたことが特徴的です。一方、安全性を意識した意見が比較的少ない傾向が見られ、ペットオーナーにとって「ペットの車内における安全性の確保」が、今後の課題のひとつかもしれません。

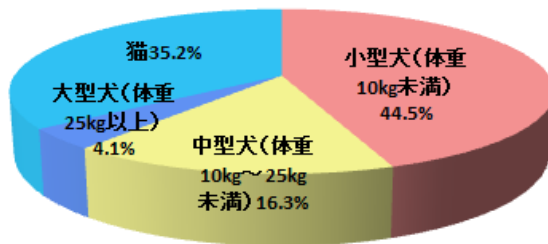
また、同時に今後欲しいと思っている車種についてアンケートを行ったところ、トヨタの「プリウス」が1位、トヨタの「アクア」が2位、ホンダの「N-BOX」が3位となり、ハイブリッドカーや軽自動車を中心に低燃費で経済的な車にペットオーナーが興味を持っていることがうかがえます。

さらに、車に乗る際に普段ペットを乗せている場所について聞いたところ、約半数（44.5%）の方が「後部座席（犬オーナー：46.3%・猫オーナー：39.4%）」と回答。季節も暖かくなりペットを乗せてドライブに出かけたくなるシーズンですが、ペットの乗車環境によっては大きな事故に繋がる危険性もあります。専用リードや専用シートベルトなどでペットをしっかりとサポートするといった安全への意識を高め、ペットと安心して楽しくドライブに出かけられるよう、準備していきましょう。

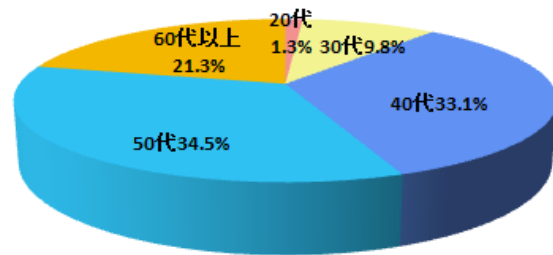
#### 調査概要

- 調査対象：全国の20～70代の男女（ペットを飼っている方）
- 有効回答数：1,183サンプル（男性・800サンプル、女性・383サンプル）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査期間：2014年3月25日（火）～2014年3月28日（金）

調査結果概要



■飼っているペットの種類



■ペットオーナーの年齢

■ペットが車に乗りやすいように普段から工夫などはしていますか？

回答結果	飼っているペットの種類		全体平均
	犬	猫	
工夫をしている	34.1%	12.8%	28.6%
工夫をしていない	65.9%	87.2%	71.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

「ペットが車に乗りやすいように普段から工夫などはしていますか？」と質問をしたところ、全体で約3割（28.6%）の方が「工夫をしている」と回答。犬オーナーは3割以上（34.1%）と多くの犬オーナーがペットを車に乗せていることがうかがえます。

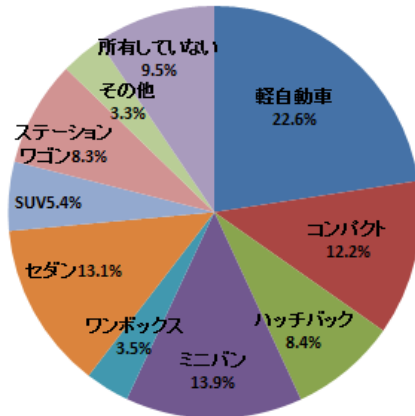
■具体的にどんな工夫などをしていますか。（フリーアンサー）

<p>●第1位: ペット用シートカバーを敷く(27.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後部座席をすっぽり覆ったシートカバーと座席部にペット用クッションを完備。(50代・男性)</li> <li>・座席全体をフラットにしてシートカバーを敷き、その上に犬専用のハウスを設置。窓には暑さ寒さ対策用にキルト加工のシェードを貼っています。(40代・女性)</li> </ul>
<p>●第2位: クッションなどで足場を固める(15.0%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クッションを敷き詰めて、助手席と運転席を自由に行き来できるようにしている。(50代・男性)</li> <li>・高めのクッションを置いて、外の景色を見やすいようにしています。(60代・女性)</li> </ul>
<p>●第3位: キャリーバッグ・専用ケースの設置(12.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用のキャリーバックをリードなどでシートに固定させて安全にしている。(30代・女性)</li> <li>・ラゲッジルームの上にクッション材をしいて、犬専用のキャリーバックを置く。(30代・男性)</li> </ul>

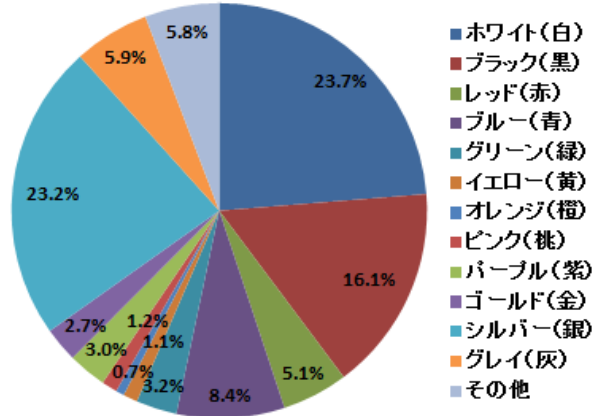
具体的にどんな工夫をしているか質問したところ、第1位「ペット用シートカバーを敷く（27.7%）」、第2位「クッションなどで足場を固める（15.0%）」、第3位「キャリーバッグ・専用ケースの設置（12.6%）」となりました。第1位・第2位の意見を中心にペットの車内における居住性や自由に行動できるように配慮した意見が多く見られたことが特徴的です。

一方、安全性を意識した意見が比較的少ない傾向が見られ、ペットオーナーにとって「ペットの車内における安全性の確保」が、今後の課題のひとつかもしれません。

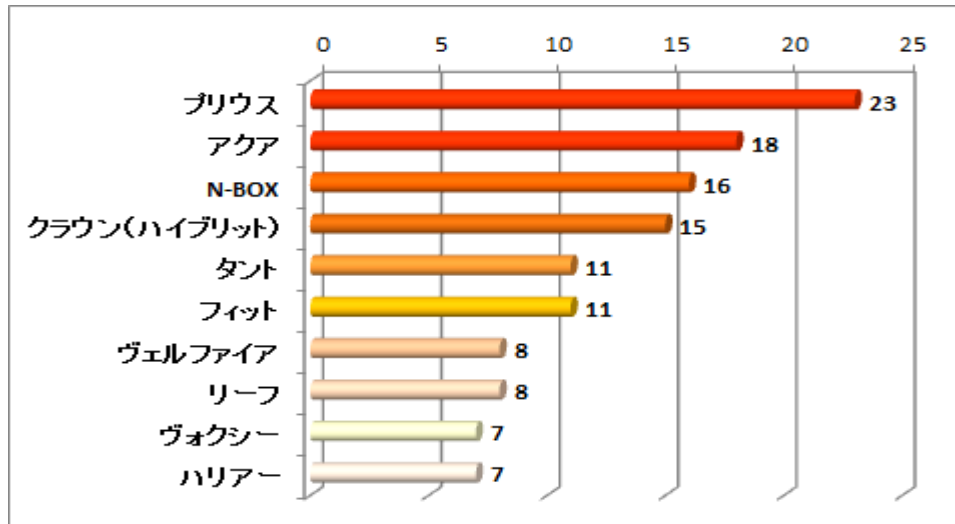
■現在所有している車のタイプ



■現在所有している車のボディーカラー



■今後欲しいと思っている車種はなんですか？（フリーアンサー） 《有効回答数：407票》



トヨタの「プリウス」が1位、トヨタの「アクア」が2位、ホンダの「N-BOX」が3位となり、ハイブリッドカーや軽自動車を中心に低燃費で経済的な車にペットオーナーが興味を持っていることがうかがえます。

■今後ペットを同乗させる場合に最も欲しい車載装備は何ですか？

回答結果	飼っているペットの種類		全体平均
	犬	猫	
ペット用シートベルト	8.3%	6.6%	7.8%
ペット用シートカバー	12.5%	5.8%	10.7%
ラゲッジルームカバー	3.6%	0.4%	2.8%
ペット用ステップ	2.0%	0.4%	1.6%
ペット用ドライブボックス(ベッド)	9.2%	8.8%	9.1%
専用抜け毛クリーナー	14.6%	10.6%	13.6%
室内消臭機能	10.1%	6.6%	9.2%
その他	0.3%	1.3%	0.6%
特に欲しい装備はない	39.4%	59.3%	44.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

車を清潔に保つ観点から、専用抜け毛クリーナー、シートカバーへの興味もうかがえます。

**■ペットを車に最初に乗せた時のペットの年齢はいくつ位ですか？**

回答結果	飼っているペットの種類		全体平均
	犬	猫	
6ヶ月未満	53.9%	42.5%	50.9%
6ヶ月～1歳未満	13.2%	14.6%	13.6%
1歳～3歳未満	11.7%	10.6%	11.4%
3歳～5歳未満	5.1%	4.9%	5.1%
5歳～7歳未満	3.4%	4.4%	3.7%
7歳～10歳未満	3.6%	4.9%	3.9%
10歳以上	3.6%	7.1%	4.5%
わからない	5.5%	11.1%	6.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

半数近い（50.9%）ペットオーナーが6ヶ月までにペットを車デビューさせていることがわかります。特に犬オーナーの約7割（67.1%）は、1歳までに愛犬とドライブに出かけています。

**■車に乗る際にペットを乗せている場所は主にどこですか？（複数回答）**

回答結果	飼っているペットの種類		全体平均
	犬	猫	
運転席(膝の上)	10.3%	3.5%	8.5%
助手席	40.0%	30.5%	37.6%
後部座席	46.3%	39.4%	44.5%
ラゲッジスペース	8.4%	3.1%	7.0%
その他	3.9%	6.2%	4.5%

車に乗る際に普段ペットを乗せている場所について聞いたところ、約半数（44.5%）の方が「後部座席（犬オーナー：46.3%・猫オーナー：39.4%）」と回答。

季節も暖かくなりペットを乗せてドライブに出かけたいくなるシーズンですが、ペットの乗車環境によっては大きな事故に繋がる危険性もあります。専用リードや専用シートベルトなどでペットをしっかりとサポートするといった安全への意識を高め、ペットと安心して楽しくドライブに出かけられるよう、準備していきましょう。

本調査結果に関するお問い合わせ先  
 ペット&ファミリー少額短期保険株式会社 経営企画部 佐藤  
 電話：03-5844-1120  
 URL：http://www.petfamilyins.co.jp/